



撮影＝齊田 勤
photo by Saida Tsutomu
福島・いわき市の割烹一平にて

FJPの 愉快的仲間たち



左から、会田和子(いわきテレワークセンター代表取締役)、瀬戸孝子(東北環境センター代表取締役)、山本欣子(ピーススタッフ代表取締役)、長谷川雅子(割烹一平取締役女将)、三田公美子(企画室・コア代表取締役、FJP前会長)、上石美代子(郡山トラック運送代表取締役、FJP会長)、佐川八重子(桜ゴルフ社長)、長尾千代美(アンブラン代表取締役)、佐藤光代(郷代表取締役)、青木淑子(富岡町3・11を語る会代表)、澤上春江(サワカミ&サングループ代表取締役)

別に会としてしているわけはありますが、群れないを肝に群れているのが私たち福島県女性経営者プラザ(略称・FJP)だと思っております。

会員はいろんな業種の女性社長さんたち。月1回の例会をベースに、3回目を迎えた女子学生作文募集、たとえばホリエモン講演会などの大型講演会など会を挙げての事業にも取り組んでいます。イベントでの手際のはきは女性社長ならではのものです。チャットチャットとやって、チャットチャットと終了します。ひ

とりひとり目は目を見はるほど個性的でユニークなのですが、会の活動となると一致団結。運動神経にかかわらないオリンピックができれば出したい位です。

それだけに個性全開OKの忘年会でのアトラクションといったふうなされるほど面白い。

ふつう女性の会というところ、会議で決まったはずが、後のお茶会でひっくり返っていたり、会議で一言も発しなかった人が後からぐちゃぐちゃと言ったり、残念ながらそんな傾向があるのですが、FJPは会議が全て。皆、後のお茶会などする時間も

なくまっすぐ直行で帰ります。

他会との交流もできるだけ広げたいので、NPO法人「富岡町3・11を語る会」の青木淑子会長や東京産業人クラブ女性部会長の佐川八重子さんなど図々しくも親せきづきあいをお願いし、さまざまなご協力を仰いでます。

こんなにいい会なのに、なぜ会員がわっと増えないのだろう。毎月の例会は1時間程度だが講演会や新しいビジネストレンドの勉強会も必ず行なうし、福島復興への活動も積極的だし宴会だってひっくり返るほど面

白い……。

前会長だった私がぐずぐずとこぼしたら、新会長の上石さんが、そうですね、とやさしく合づちを打ち、もしかすると勉強するからかもしれませんね、と言いました。

そうだったのか！ 私は目からウロコの発見でした。

いくら自己啓発といっても経営の勉強だけに限らない。大体FJPの会員ひとりひとりが分厚い本1冊以上の中味はゆいにあるのだから、集まるだけではないんだ。FJPはこれからです。

(三田記)